

# 鹿骨東小学校 学校応援団 実践報告書

## 1 校長及びコーディネーター氏名

鹿骨東小学校長 中田 伸代  
コーディネーター 杉田 省吾

## 2 ボランティア登録数（令和7年1月末現在）

学校応援団ボランティア数	一般ボランティア	83人
	学生ボランティア	0人

## 3 今年度の活動状況

応援団の種類・名称	活動状況(週、月、不定期)	ボランティア数 (実人数)
安全・安心見守り隊	週5回	21
図書ボランティア	学校図書館週1回 児童読み聞かせ月1回	16
グリーンボランティア	不定期 学校菜園の整備 米作りの指導・助言	16
環境整備（おやじの会）	不定期 学校の側溝清掃 各種イベントの企画・運営	30



安全見守り隊が毎日の登校を見守ってくださります。



おやじの会の皆さんが、田んぼの整備や側溝掃除、まつりや肝試しを企画・運営して下さいます。



グリーンボランティアの皆さんが、田植え指導をしてくださいます。



## 4 今年度の成果と課題

### <成 果>

本校は、地域の教育力が高い。登校時の見守り時に児童へたくさんの温かい声掛けをいただいている。したがって、児童の挨拶も活発であり、自ら挨拶をする児童が多い。今年度も登校中の事故はゼロである。安全見守り隊の方々のお力添えのおかげであり、学校として大変心強い存在である。

また、全学年実施の「ふるさと学習」では、地域の伝統工芸や自然を学ぶ際に、講師として地域の方々の協力をいただいている。

次に、グリーンボランティアの方々には、稲作の準備や刈り取った米の脱穀、菜園での植物栽培にご協力をいただき、教育活動を円滑に進めることができた。おやじの会の皆さんには、学校の側溝清掃や各イベントの運営、学校図書司書と図書ボランティアの方々には、学校図書館の環境整備をできたことで、図書指導が充実した。前述のふるさと学習を含め、みずからの地域「鹿骨」を大切に思う心を育てる教育活動を展開することができた。

### <課 題>

本校を支える応援団の皆さんが、高齢化している。体力的に厳しい中、夏冬問わず少しでも協力してくださろうと毎日、登校を見守ってくださっている。若い世代の応援団員を加えることが課題である。

本地域は、学校への愛着と期待、協力への温かい気持ちが強い。教育活動をできる限りオープンにし、児童・教員と地域の人々が触れ合える機会や地域の方々の能力を教育活動に発揮できる機会を増やしていきたい。学校応援団の新規募集をかけたが、令和6年度は少数の応募にとどまった。引き続き、発信をしていく。人材確保・維持することと併せて、学校職員の多数の異動者があったとしても、ふるさと学習等で地域の方々から得た知見を継承できるようにしていくことを心掛けていく。

## 5 コーディネーターより

はじめに今年度も事故なく終えることが出来たこと、厚く御礼申し上げます。特に朝の見守り隊の皆さまは、このデジタル主流の時代において、仕組みだけでは実現できない地域の繋がり の体現と児童の少しの変化に気づきフォローいただいたことは不登校発生の抑止に大きく寄与くださったこと、他の地域に対しても良き模範となっていると思います。来年度もよろしく願いいたします。

## 6 学校長より

「子供たちのために」という思いで多数の学校応援団の皆様が、本校の教育活動を支えてくださっています。明るい挨拶のあふれる登校風景、読書科の推進、米プロジェクト、おやじの会の「真冬の肝試し」など本校自慢の多くの活動は、学校応援団の皆様のご尽力の賜物です。心より感謝申し上げます。